

第 65 回接続料の算定等に関する研究会の議論を踏まえた
東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社への追加質問及び回答

問 1 「接続料とは異なり、卸料金は、単年度のコスト変動に応じてリニアに連動させる性質のものではない」という貴社の意見について、完全にリニアではないということは理解できたとして、単年度のコスト変動と卸料金はどのような関係性があると理解したらよいか。

リニアではないにしろ、関係性は全くないわけではなく、ある程度あるという理解でよいか。

(佐藤構成員)

(NTT東西回答)

- 当社が設備を自己設置して提供する光サービス卸は、中長期の需要で設備投資を回収することや将来の追加投資の発生を前提としたビジネスモデルとなっており、その料金は、現在のコストだけではなく、今後の光サービスの需要動向や、設備の老朽化、技術革新（高速化・高度化）に対応して必要となる設備投資などを踏まえて設定する必要があることから、現在のコストについては、卸料金を設定する上で考慮すべき数ある要素の一つであると考えております。

問 2 設備投資額については減価償却費等で回収され、投資のリスクは自己資本に対する報酬額に反映されており、NTT東西と接続事業者、卸先事業者のそれぞれが料金の中で負担しているという理解でよいか。

(佐藤構成員)

(NTT東西回答)

- ご指摘の通り、これまでの設備投資のうち費用化されたものは減価償却費として、また設備投資に係る資金調達等の資本コストは報酬額として、それぞれ接続料原価に反映されており、当社と接続事業者がそのコストを接続料として応分に負担しております。
- その上で、当社が卸先事業者に提供する光サービス卸の料金については、卸先事業者が他の提供手段を選択可能であり、当社の光サービス卸を利用し続けることが保証されない中、過去の設備投資のうち、現時点で費用化されていない未償却残高が相当程度残っていることや将来の追加投資の発生が想定さ

れることなどを勘案して設定する必要があると考えます。

問3 貴社が投資のリスクを負っているとしても、卸サービスが拡大することで貴社にも利益が生じると理解しているが、そのような理解でよいか。

(貴社の示した総費用曲線の $TC=a+bX$ ($a>0$, $b\geq 0$, X_F はフレッツ光ユーザ数、 X_{F+C} はフレッツ光とコラボ光の総ユーザ数) から導出される平均費用は $AT_{IC}=b+a/X$ の右下がりの曲線になる。別添図で示したように、コラボでユーザ数が増加することでNTTにも利益が発生することが期待できるという考え。)

(佐藤構成員)

(NTT東西回答)

- 第64回の追加のご質問への回答において申し上げたように、FTTHサービスにおいては契約者の増減とリニアに連動しない設備投資(光ケーブルの敷設、IP網の構築等)が必要となり、自己設置及び接続でサービスの提供を行う場合は一般的にユーザ数が増加するほど1ユーザ当たりの費用は低減します。
- 当社としては、こうした費用低減にも資する需要拡大を通じた光ビジネスの成長を目的として、これまでのコスト効率化や将来の変動要素等を勘案の上、提供開始以降の約8年で4度にわたり自主的に卸料金の値下げを行い、来年度にも更なる値下げを予定しているところです。今後においても、光の更なる需要喚起に向け、継続的なコスト効率化を図ることで更なる卸料金の低廉化・卸先事業者への還元に努めていく考えです。

問4 接続料(主端末回線)の算定において、分子の設備管理運営費には未利用設備の費用が計上されている一方で、分母では利用芯線数を用いている(未利用芯線数は除外されている)。

この点でも、卸ビジネスでユーザ数が増加し、光の芯線利用率が増加することで、接続料の低下が期待できると考えられる。卸ビジネスのユーザ数増加が光芯線使用率を高め、接続料を引き下げるとすれば、そのメリットNTT東西とは卸先事業者に応分に還元されるべきものではないか。

(佐藤構成員)

(NTT東西回答)

- 当社としては、芯線使用率の向上も含めて費用低減にも資する需要拡大を通じた光ビジネスの成長を目的として、これまでのコスト効率化や将来の変動要素等を勘案の上、提供開始以降の約8年で4度にわたり自主的に卸料金を

の値下げを行い、来年度にも更なる値下げを予定しているところです。今後においても、光の更なる需要喚起に向け、継続的なコスト効率化を図ることで更なる卸料金の低廉化・卸先事業者への還元に努めていく考えです。

- なお、卸料金については、卸先事業者は、需要の多寡にかかわらず一定の利益率が確保可能であり、初期の設備投資リスクを伴う自己設置や相互接続とはリスクとリターンの構造が異なることを考慮した上で、設定する必要があると考えております。

(問3別添図)

